

変動	関連	ランキング	分布	時系列変化	割合	大きさ	場所	流れ	
<p>固定基準点からの変動 (+/-) を強調する。基準点は通常のだが、目標や長期平均にすることもできる。また、感情を表すのにも使われる (ポジティブ/どちらでもない/ネガティブ)</p> <p>FTでの使用例: 貿易の黒字/赤字、気候変動</p>	<p>2つもしくはそれ以上の変数の関係を示す。あなたが否定しない限り、多くの読者は示された関係性を因果関係 (すなわち、ある事柄が別の事柄を引き起こす) だと思い込むだろうということに注意してほしい。</p> <p>FTでの使用例: インフレと失業率、収入と平均寿命</p>	<p>順位付けされたリストにて、あるアイテムの絶対値や相対値より順位の方が重要な場合に使う。面白い部分を強調するのを恐れてはいけない。</p> <p>FTでの使用例: 財源、損失、リーグ表、選挙区での選挙結果</p>	<p>データ中での大きさや頻度を表す。分布の形 (や歪み) が数値の均一性や公平性を強調し、読者の記憶に残るだろう。</p> <p>FTでの使用例: 収入の分布、人口分布 (年齢性別)</p>	<p>傾向の変化を強調する。(1日以内の) 短期の動きや数十年や何世紀にも及ぶ一連の流れを表すことができる。読者に適切な文脈を提供するため、正確な時間軸を選ぶことが重要である。</p> <p>FTでの使用例: 株価の動き、時系列による経済の流れ</p>	<p>その構成要素の中で、一つの要素がどれほど占めているかを表す。もし読者が要素の大きさのみに興味があるなら、代わりにmagnitude-type chartを考えるべきだ。</p> <p>FTでの使用例: 財政予算、社内体制、国政選挙の結果</p>	<p>大きさの比較を示す。これらのグラフは相対値 (ただ大きさを比較するのみ) や絶対値 (絶対値の違いを見せる必要がある) になりうる。大抵計算された割合よりも数え上げた数値 (例: バレル、ドル、人数) を示す</p> <p>FTでの使用例: 生産量、時間記録</p>	<p>データ中の正確な位置や地理的な図式が他の何よりも読者にとって重要な時のみ使う。</p> <p>FTでの使用例: 案内図、人口密度、天然資源の場所、国家災害の危険度/影響、集水域、選挙結果の変化</p>	<p>2つもしくはそれ以上の状態からの動きの大きさや強さを読者に示す。論理的な連続性や地理的な位置関係がわかる。</p> <p>FTでの使用例: 資金の動き、貿易、移民、訴訟、情報のような関係性を示すグラフ</p>	

</

## Visual vocabulary

# Visual vocabulary

データをデザインする

データを可視化する方法は非常に沢山ある。どうすれば、どの手段を選ぶべきかわかるのだろうか。最も重要なデータの関係性を決めるのに最上部のカテゴリールを使い、それからカテゴリール内の様々な種類のチャートを見て、最も効果的であろう初期のアイデアを作ると良い。このリストは網羅的ではなく、魔法のようなものでもないが、有益で有意義なデータ可視化の出発点として役立つだろう。

FT graphic: Alan Smith; Chris Campbell; Ian Bott; Liz Faunce; Graham Parrish; Billy Ehrenberg; Paul McCallum; Martin Stabe

Inspired by the Graphic Continuum by Jon Schwabish and Severino Ribecca

ft.com/vocabulary

FT